

茅ヶ崎同盟教会 教会学校だより

2008年度年間暗誦聖句 (こどもさんびか 77 番)

神は、そのひとり子をたまわったほどに、この世を愛してくださった。

それは、み子をしんじるものが、ひとりもほろびないで、えいえんのいのちをえるためである。神が、み子を世につかわされたのは、世をさばくためではなく、み子によって、この世がすくわれるためである。

(口語訳)

ヨハネによる福音書 3 章 16 ~ 17 節



2008年度教会学校だより春の号をお届けします。本年度は13名の教師でみなさんといっしょに聖書を学んでいきます。本年度も幼稚科と小学低学年と一緒に礼拝と分級を行います。小学生から成人科までは合同の礼拝です。この1年間みなさんよろしくお祈りします。さて春の号は先生紹介号です。先日の教師会で、『また自己紹介？もう何も書くことがないので校長に一任！』・・・となりました。恐るべし教師会。今年はインタビュー形式でそれぞれの教師からの裏エピソードをご紹介します。それぞれの人物像をご想像ください。

〔幼・小学低学年科〕

稲津悠紀 (いなづゆき)

年齢は60歳です。昔はキュートな美人でした。夫が一目ぼれしたくらいですから。今もキュートな“ばあ~ちゃん”です。特技は腹話術で今もワザを磨いています。家族構成は8人家族で、うち6人が女性の女系家族です。2世帯住宅になっていて1階に夫と私と娘2人。2階に長女夫婦と孫娘2人が住んでいます。すべて美男、美女？はご近所でも評判です。さて私の普段の生活はといいますと、朝は家族を駅まで車で見送ります。時間差があるので数回となります。

昼はかわいい孫と遊んだり、教会の仲間とおしゃべりをしています。ヘルパーのお仕事もあります。夜は家族のための夕食作りをして、9時以降はコタツでうたた寝となります。11時頃2人の娘のお迎えで駅まで車で行きます。これも時間差があるので2往復となります。夫は健康のため徒歩で帰宅します。教会生活も書かねば・・・「断れない性格&いい加減な性格」のため役員、婦人会、CS、絵本

の会、ハンドベルをさせてもらっています。はたして、ちゃんとできるかわからないが、神さまにお任せして、すべて楽しみながらできたらいいな～と思っています。

柏 真祈（かしわまき）

CS に奉仕者として携わってから 8 年になりました。初めて奉仕をした当時には小学生だった生徒が中学生になり高校生になり CS を卒業して



いきました。職場では 6 年目になりもはや若手とは呼ばれなくなってきましたが CS 教師の中ではまだまだ若手の筆頭です！

最近には月に 1 回お料理教室に通い花嫁修業にいそしんでいます。また今年の一歩の楽しみは 8 月にアメリカで開催される第 13 回ハンドベル世界大会に参加することです。2 年前に初めて参加した世界大会は本当に思い出深く、今からわくわくしています。

CS の教師として子どもと触れ合うことは発見の連続です。特に私が担当している幼・小学科の子どもたちは本当に可愛いのですがみんな個性がはっきりしていて面白いです。ただ小さいからといって「聖書の話は難しいかな？」なんて思っていたら大間違い。大人顔負けの質問を投げかけてくるので自分にとって良い学びになっています。今年はずっともっとたくさんの子どもが来てくれたらいいなあと思っています。

* 編集注 13th International Handbell Symposium 2008. August 4-8, at Rosen Shingle Creek, Orlando, Florida, USA <http://www.agehr.org/events/symposium.asp>

私のお母さん・加藤ちぐさ（かとうちぐさ）の紹介

加藤絵美 作

私のお母さんはと～っても小さいです。なので、私もと～っても小さいです。私のお母さんはうそをつきます。例えば私が「2年のクラスつまんね～」とお母さんにいいます。そしてそれをお母さんが他の人に「絵美がクラスつまんね～っていった。男もいいのがないって」と、よけいな一言を勝手に付け加えます。その後、必ず私は兄と顔を見合わせて「またうそだ」とアイコンタクトをします。「またうそついた」というと、お母さんは必ずいう言葉があります。それは「でも、私のつくうそは楽しいうそだもん」またこれだ……。いつもこれでごまかされています。

次に、私のお母さんは、いつでもどこでも「お風呂」という言葉を使います。朝

でも「お風呂はいる」、昼でも「お風呂はいる」、寝る前でも「お風呂はいる」・・・日本語の使い方、まちがっているでしょ。これが私のお母さんかと思うとちょっと悲しくなります。例えば「ご飯食べよう」という時にも「お風呂はいる」、「さあ、寝よう」という時も「お風呂はいる」なのです。お母さんいわく、ただお風呂が好きでいってしまうんだ・・・とか。そして、またまたお母さんが必ずいう言葉は「でも、いいたいことはわかるでしょ？」ん～全然わからん。ま～そんな私のお母さんですが、楽しいといえれば楽しいです。こんな私のお母さんですが、どうぞこれからもよろしく願いしま～す。ママ、ファイト!!!

* 編集注 家族なら代筆も可としたため、早速の告白レポートとなりました。絵美ちゃん、ありがとう。

早坂美奈子（はやさかみなこ）

編集長の要望で、今回は我が家の秘伝公開による自己紹介となりました。青森といっても津軽と八戸では言葉がまるで違うそうですか食文化も地域によって大きな違いがあるようです。青森出身のある友人に、せんべい汁やせんべいご飯の話題を持ち出してもまったく知らないという事があり、こちらがびっくりした事があります。

さて、そのせんべい汁とは・・・鶏肉でだしをとるお雑煮の要領で塩、しょう油、酒などで味を整えたお汁に里いも、長ねぎ、大根、人参などの野菜を入れて煮ます。柔らかくなった所にお汁用のゴツ固い南部せんべいを4つに割って入れます。煮立たせたところに舞茸を入れてでき上がり（ ）b。お汁でふくらんだせんべいがお餅のようにほどよい柔らかさのうち召し上がれ。冬はあたたまりますよ～。具はなんでもOK！豚汁の残りに入れてもGOOD（・ < ）ノ。

次にせんべいご飯とは・・・うす焼きのゴマの南部せんべいに塩をきかせたお赤飯をはさんでしっとりさせた赤飯サンド。腹もちもよく、手も汚れず何かと便利でうちの子どもにもユニケ会のメンバーにも好評です。さらにおまけ。

おいなりアイス・・・千切りのしょうがを混ぜたバニラアイスを甘辛く煮たおいなりさんの皮に入れて少し固め直していただきます（^v^）。ギョッ!!っと思われるでしょうがこれがまた絶妙な味なのです。これらの珍しい料理を教えてくれたのは八戸出身で東京に住む友人でテンペラ画を描く画家さんです。彼女に教えてもらったのは料理だけでなく、宗教画の事や子育て法も・・・。

そして八戸のせんべい屋さんも紹介してもらい毎年お汁せんべい、うす焼き南部せんべいと購入しています。もし作ってみたいと思われた方は、せんべい有り升!早坂まで。

* 編集注 参考 = せんべい汁ドットコム <http://www.senbei-jiru.com/syokubunka/>

馬杉めぐみ(ますぎめぐみ) 奏楽アシスタント

校長先生から「今年の教師紹介は私に一任されましたので、引き受けることになりました」とおっしゃっていたので、私は「ヤッター!!」と心の中で思いながら「よろしく願います」と答えました。すると「そのために、何か面白いエピソードがあったら教えて下さい」といわれ、やっぱり何か書かなければ・・・と思いつつ書かせていただくことにしました。

私は、小学科の芽依と幼稚科の美希の母のめぐみです。昨年の夏期学校で一緒だった先生方はすでにご存知かと思いますが・・・そう、何を隠そう(エッ、隠れていない?!) はっきりいって“天然”です。ハイ。

某アイスクリーム屋さんに行ったときの事です。アイスクリームの大好きな私は、意気揚々と「ベリーをください」とお店のスタッフに注文をしました。それを聞いた店員さんは肩が小刻みに震え「あのう...それは当店の名前ですが」と小声でいったときには、私はまさに穴があったら入りたい気持ちでした。

そして、そのお店には二度といけないなあ・・・と思っていたら、やがてそのお店はなくなってしまいました。おいしかったのに残念・・・。このように、穴があったら入りたいばかりの日々を送っていますが、このような私をも、神さまは愛し守って導いてくださり、また奏楽のご奉仕までさせて頂けることに、心から感謝しています。これからもよろしく願います。

〔小学科〕

稲津亜紀(いなづあき)

生年月日は1975年9月25日です。血液型はB型(B型三姉妹の中間子)です。趣味は暇さえあれば、可愛い姪っ子たちと遊んでいます。私にとっての癒しです。日課は毎朝必ず骨盤矯正体操と部屋の雑巾がけをします。最近の悩みはとにかくよく風邪を引くことです。青汁を飲み、ビタミン剤を飲み、手洗いとうがいは勿論、外出時には必ずマスクを着用しているにもかかわらず、引くんです(涙)。

お仕事はダンススタジオやカルチャースクール、大学などでジャズダンスの講師をしています。その他、ダンス公演やミュージカルに出演したり、振り付けのお仕事もしています。教会生活は姪っ子をつれて早朝の聖歌隊の練習に参加し、その後CSの子どもたちと一緒に礼拝をまもる時間がとても幸せな時間です。今年度から母が教会の役員になったので、何か母の手助けができれば・・・と思いつつ何もできません(涙)。

森本 成(もりもとおさむ)

還暦を迎えたと思ったら息子に男子が誕生し“ジイジ”になりました。三代目のヤコブに期待しています。将来はラケル(のような女性)を妻に・・・と夢はふくらみます。さて、職場では毎度お騒がせ「天気晴朗なれど血圧高し」のメタボ楽団



バンマスで、年一回のクリスマス・コンサートに向けて、夏も冬も年中クリスマス・キャロル中心の練習をしています。金管バンドなのでキャロル譜は英国・救世軍発行の本物を使用しています。実は宴会部長も兼任で、新年会、お花見会、楽しい合宿(宴会付き)、忘年会に明け暮れています。

例えば新年会は、毎年1月に伊豆・伊東温泉一泊で行います。東京駅・大丸デパ地下でたくさんの飲み物や食べ物を調達して、踊り子スーパービュー号に乗車します。そこから伊東駅まで、車窓からの景色など関係なく延々車中宴会が始まります。総勢16名なので大変賑やかです。伊東に着くと、近くのスーパーで飲み物、おつまみ、その他必須アイテムを買い込んで宿舎に向かいます。源泉かけ流しの温泉で疲れを癒して夕食となります。お刺身やお鍋の豪華ご馳走で2時間ほど盛り上がります。そして今度はカラオケタイムです。ここからは持参の宴会グッズも大活躍。十八番の「憧れのハワイ航路」からスタートの約2時間バトルです。その後は部屋に戻って、12月に行ったりサイタル・ビデオ鑑賞で大爆笑大会(NG&珍プレー集なので)が始まります。そうこうしておりますと、もう深夜です。いつものクセで4時には目が覚めて朝風呂です。朝は全員、お約束のように「ソルマック」や「ウコンの力」の力を借ります。お天気がいいので朝食もおいしいゾ。海岸通りに出て、製造直売のひものをたくさん買って帰途につきます。丁度、適度な字数となりました。こんな駄文ばかり書いているので、妻からはヒンシュクを買っております。

*編集注 宴会グッズ = 鉢巻、リボン、タスキ、変なおじさんキット、加トちゃんキット、たらこ唇、鈴など。

安田雄子(やすだゆうこ)

最近のテレビや新聞はみたくないと思う日が多い。子どもや若い人が被害者、加害者になっている事故や事件の多さにガックリと身体から力が抜けてしまうから。今から58年前、日本が太平洋戦争に敗れて5年経って、私は生まれた。産着やおしめも手に入りにくい頃、場所は宇都宮の松峯(まつがみね)カトリック教会の真向かいの産院だったそう。早朝6時20分産声をあげる。家には電話がないので、看護婦さんが走って、父に知らせて下さったとか。宇都宮の冬は寒く、コップの水が朝には凍っていたとか。2歳の終わり頃から現在の場所にほとんど動かずに住み着いている。

当時の中通りに、たまにタヌキやキツネが出没した。自転車は1日に数台通行、そのためデコボコ道も遊び場、海の砂浜も遊び場、家のまわりの原っぱも遊び場だった。かつてのパシフィック・パークが建つ前は、そこに小高い丘があって、江の島もえぼし岩も眺められた。あちこちの空き地に秘密基地をつくり、チャンバラ、月光仮面ごっこ、野球、たまに弟とおままごと、などなど。おもちゃは何ひとつなかったけれど、楽しかった。棒きれ、石ころ、風呂敷、床屋のおばちゃんができるサイコロキャラメルを携帯し、これで日暮れまでたっぷり遊んだ。

今、この年になって思い出だけでも胸の奥がワクワクして熱くなるのは何故だろう。時が経つのを忘れて夢中になれたのは何だったのか。勉強は好きではなかったけれど、学校へ行くのが楽しみだったのはどうしてだろう。

先日、テレビで俳優の小沢昭一さん（昭和4年生まれ）が話していた。「ぼくの子ども時代は、黄金時代といってもいい位、一番よい時だった」と。昭和初期のよい時代に子どもだったこともあるかもしれないが、「青年になると、戦争とともにすべてがひっくり返り、戦争が終わると、また180度ひっくり返ったような、あんな時代は思い出したくない」と語った小沢昭一さんは、得意のハーモニカで「シャボン玉とんだ」を吹き、歌った。

今の子どもたちは、大人になった時に、子ども時代が黄金時代だったと話すだろうか。それがとても気がかりで仕方がない。私たち大人は今、彼らに何をしたらよいのか、遅ればせながらも真剣に考えたいと思う今日この頃です。「私の目には、あなたは尊い」とおっしゃって下さる神さまの存在を知らない子どもたちに、神さまと出会うことができる道を備えるために、この小さな小さな者に、神さまからこの年も知恵と力を頂いて、こんな者が少しでも成長することが出来ますようにお祈り下さい。教会学校に集う子どもたち1人ひとりのために、ご家庭のために教師のためにも、お祈り下さい。

〔中・高科〕

大木怜子（おおきさとこ）

最近の珍事エピソードについてという事で何にしようか迷ったのですが・・・わたしの楽しみの1つを紹介します。それは、娘の母校捜真で去年発足させたママさんコーラス“コーロ・リディア”です。これは、わたしたち有志数人が発起人となって、PTAとは別に立ち上げ、会の名前は学院長先生に使徒行伝に出てくる紫布商人の夫人の名前からつけていただきました。この有志グループは、4年前にキリスト教研究会という役のPTA役員で知り合った仲間ですが、その後も別れ難く、なんだかんだと理由をつけては集まって遊んでいるうちにこういう話になりました。でも実は、メンバーの1人が長年密かに祈り続けていた事だと後で知ったのです。



指導は、元捜真の音楽の先生、御年ナント86歳。でも、信じられないほどお元気で、何よりご指導が楽しくて、そして折々に、話してくださるお話に心癒されます。常に神様と共に歩まれているというのがお人柄に滲み出ているからでしょう。会員は現在30名強、予想以上の人数になりました。これも先生のオーラの力です。今年は初め

で、コンサートもしてみよう！と計画中です。

月2回の練習ですが、練習はもちろんその後のランチ、時には中華街へ行ったり、などなどアフターも楽しく、娘は捜真を卒業したけれど、わたしはずっと通えるのも嬉しい事です。今はとにかく、先生が1年でも長くお元気でご指導して下さいの事を祈ります。~(^_^)/~~~~~

弓桁あずさ(ゆみけたあずさ)

「道場主としての意気込みと最近の珍事を教えてください」というインタビューにお答えします。道場は珍事だらけです。その一部をご紹介します。

A君、教室の扉を開けるなり、「ねえ、ジュースとおにぎりある？」って、ここは「お食事処」ではありません。でも、結構あるんです、この手の質問。1番は「今日(夕食)何？」だから、食堂じゃないんだって。

B君、「僕、塾行っていないんだ」って、ここは一応塾なんですけれど。「ああ、楽しかった！」って、ここは遊園地でもないんですけれど。

いつも珍回答を連発してくれるC君に対して、D君がこういいました。「天才と何とかは紙一重っていうけれど、きみ惜しかったよね」って、それフォローになっていませんヨ。

珍回答といえば、いろいろなTVのクイズ番組で出てきますが、道場ではほとんど毎日出てきます。一番多いのが、単語の読み間違い。Mike(マイク)君はたいてい(ミケ)と猫になります。enough(イナッフ)はほとんどの生徒が読めませんが、私の一番のお気に入り(エノーグ波)って、カメハメ波じゃあるまいし。ice(アイス)も結構難しいらしく、ほとんどの生徒が(イセ)と読みます。でも1番好きなのはMy uncle(マイアングル)を(マイウンコル)って読んでくれたこと。これに勝るものはありません。

小さい子どもも来てくれるようになりました。幼稚園の子が来てくれた時のこと。「先生、お手洗い行ってもいいですか?」「ええ、どうぞ」でもその子、トイレに

行ってから、しばらくして、「先生、お手洗いに乗れません！」ごめん、ごめん。

道場では12月の最後の授業はクリスマス会になりますが、その日だけ来る生徒もいます。「きみは、サンタクロースか」って。

また、ワールドカップやオリンピックの時など、観たいTV番組があると、欠席の連絡メールがあります。「先生、カゼ気味なので、お休みします」「はい、わかりました。お大事に」って、こんなに何人もいっぺんに風邪引くか？

「今月は5週あるから、5週目はお休みにします」といった時に、「先生、その日、僕のお誕生日なので来たいです」といいました。普段にぎやかな生徒なら、「家ですれば」とつつこむのですが、いつもはおとなしいE君なので、やることにしました。すると1人の女の子が、「私ケーキ作ってくる」また、「僕、プレゼント用意してくる」「先生、その日はパーティーね」って、授業はやりますよ！でもケーキは食べましょう！

先日の嵐で雷が鳴り響き、雹(ひょう)が降った時、親切にも怖がる私のために、光ってから何秒でゴロゴロ鳴るかを数えては教えてくれ、おまけに雹を拾ってきてみせてくれました。「おい、空ばかりみてないで、教科書みろ！」って注意したら、「先生、今日は早引きしよう！授業はこれで終わり」って、今帰ったら危ないでしょうが！だいたいろくに授業やってないし「違うって、反対に延長授業だよ！」。

昨年12月23日、神奈川大学給費生制度の受験をしたF君が、受験票を出すときに、「うちのオカン、給費生制度(きゅうひせいせいど)のことを、(きゅうひなませいど)って読んだんだよ。オカンにとって生っていう字は生揚げ、生野菜、生ビールって、ナマ以外読めないんだって」こういうお母様大好き！

家族旅行、修学旅行など、どこかへ行くと、たいていの生徒さん達がお土産を買ってきて、クラス中で食べます。友だちも学校の友だちではない友だちがいて、学校でもなく、家庭でもない、もうひとりの自分を出せる所にもなっています。『保健室のような塾』を目指していますが、なにより、私自身が楽しむ場になっています。面白いですよ、若い子たちと一緒に楽しめて。神様に心から感謝しています。

〔成人科〕

飯田純子(いいだすみこ)

年の数だけは一番多いです。欠けた所だらけの者ですが、神さまの恵みと愛によって、教会生活を送らせて頂いています。聖書をとおしていろいろなことが分かり、生き方を教えて頂けます。神さまの恵みによって救いに預らせて頂いてから今日まで、本当にたくさんの恵みを頂きました。教会に来なかったら、経験することがなかったであろうと思えることがたくさんあります。教会に来ると、多くの方々との出会いがあり、交わりがあります。そういう方々の温かい愛にふれて来られたから、今の私があるんだなあと思います。教会学校の奉仕も、私の思いで



なく、神様の導きによってさせて頂いています。今、成人科を担当させて頂いています。集まって来て下さる方々、ならびにご一緒にご奉仕下さっている古川先生、川島先生とのお交わりがとても楽しいです。聖日（日曜日）の朝 30 分ですが、どうぞ、どなたでも是非おいで下さい。

川島正子（かわしままさこ）

2 月に赤い薔薇や赤いバルーンの誕生日プレゼントを頂きました。長野めぐみ教会の鈴木敏子先生と 6 年ぶりに教団総会 2 日目の朝食の時お会いして先生の言葉に励まされました。先生は 60 歳で台湾の宣教師として派遣され北京語を学ばれて 10 年間働かれその後帰国されて 75 歳の現在も牧師として働いておられるとのこと。うーんすごい！我が教会からも先輩の牧師先生たちが 60 歳近くから献身しておられることを思い出しました。4 月から始まった春学期の授業の中にあるギリシャ語。やっぱり避けては通れないか？アルファ、ベータ。ガンマ。「年を取っても繰り返し繰り返しやることで脳に刻んでいける」と 10 年前に人間発達学の授業で教えていただいた言葉を頼みにして、緑の美しい学園で、次男と同じくらいの年の学生の中で週 2 日学生の気分にならせていただいています。教団総会で頂いた御言葉、「権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって（ゼカリヤ書 4：6）」。

体力が続きますようにお祈りいただけたら嬉しゅうございます。よろしく願いいたします。

古川盛弘（こがわもりひろ）

今回は校長から好きなことを存分に書いてよいとのこと、私の車のことを書いて自己紹介にしたいと思います。私の車の名前はスカイラインです。新車を買って 17 年になります。購入時は親に反対されました。しかし 1 年半ぐらい、昼は会社、夜はアルバイトをして 1 日の睡眠時間も 4～5 時間という生活をしていました。あの頃は若かった。何せ 18～19 歳でしたから。今は無理です。そして親も納得して買ってくれました。納車日は、朝から落ち着きがなく、そわそわしていました。夕方になって車が着いたときは、それはもう嬉しかったです。しかしその 4 日後、市内を走っていて、家の近所でドアをガリガリやっしまい、修理代がものすごい金額となりました。今でもドアには、そのときのキズが残っています。

この車には、いろいろの思い出があります。ヤクザの組長さんにぶつけてしまったこと、当て逃げされたこと、初めて自分で車検をしたり、雪道の上ですべてしまったり、友だちを乗せてドライブをしたり、1人で夜中に箱根に行ってコーヒーを自販機で買って車を眺めていたりしました。あづさ(妻です)もこの車が大好きです。今はほとんどあづさが使っています・・・。

この車でたくさんの人と出会いました。今は仲間たちと、山梨県でぶどう狩り、静岡県ではイチゴ狩り、千葉県に行ったりしています。あづさやあづさの妹さんとその子どもたちでどこかに行くときは、車内はギャアギャアと大変賑やかです。ちなみにあと3年乗れば、この車は20歳になり成人式です。頑張っ、あと最低でも3年は乗るぞと思っている私です。今年は8回目の車検が来ますが、車のお店の人は「えっ、まだ乗るんですか」という顔をして、あきれています。ディーラーマンは僕の中学時代の先輩です。世間は狭いです。これで私のスカイライン好きがわかりましたかな。神さまも大好きですよ。このおじさん、スカイラインということが好きなんだと覚えてくれれば自己紹介は大成功です。

〔CS聖歌隊〕

森本 成(もりもとおさむ)・安田雄子(やすだゆうこ)

レギュラーメンバーは、この春幼稚園入園、年中クラスの和奏ちゃんと美帆ちゃんです。小さな聖歌隊の大きな役目は、1ヶ月前から次の月の「今月のうた」を覚えて、歌えるようにしておくことです。第1聖日の礼拝で、聖歌隊は前に出て、「今月のうた」の第1節(1番)を讃美します。はじめて耳にしたお友だちは2節から一緒に讃美します。そういう大きな役目があるのです。

2人は讃美が大好き、お家でも、また教会に向かう道すがら、歩きながら、自転車に乗りながら、いつも口ずさんでいるのです。そんな可愛い2人を教会で待ち受けているのは・・・。

ところで、NHK番組“おかあさんといっしょ”で、今から何代か前のうたのお兄さんたちの名前に記憶のある方・・・はおられますか？ そう・・・おさむお兄さんとゆうこお姉さん、そうなの、そういう2人なの?? 怪しいって? 詳しく申しますと、ちょっと片岡千恵蔵を思い出して・・・あるときは片目の運転手、あるときは老警官、あるときはキザな紳士、あるときは香港帰りのセムシ男、またあるときはインドの魔術師ハッサンカン、はたまたあるときは私立探偵・多羅尾伴内、しかしてその実体は.....メンバーとの年齢差など気にもせず(気にしていない)、すっかり馴染んで声を合わせる幸せな(おめでたい)おさむお爺さんとゆうこお婆さんなのです(ここまで書いてしまったけれど、ちょっと後悔)。このおもしろい光景を一目見たいと思われる方は、どうぞいつでもご遠慮なく、8時半くらいにいらしてみてください。心を神さまに向けておなかの中から声を出し、神さまを

ほめたたえる至福のときを共有しましょう。今までも、そしてこれいからも一年中メンバー募集中です。(おさむ兄さんからメールが届き「書いてちょうだい」といわれ、素直に書いてしまった奏楽担当・安田雄子 記)

〔フリー〕

熊谷 徹(くまがいとおる) & 熊谷麗子(くまがいれいこ) 牧師夫妻



教会は耐震補強&改修工事の真っ最中です。外壁や内壁を剥がし、傷んだ部分を取り除き、新しく柱を加え、筋交いを増やし、補強金具を打ちつけ・・・と本当に大変な作業です。一所懸命工事してくれる大工さんたちに感謝します。私たち夫婦は、工事の音と振動と粉塵と荷物の山に取り囲まれて2ヶ月余を過ごして

来ました。正直言って少々バテ気味ですが、もう少しあと少し・・・。工事が完成した暁には阪神大震災レベルの地震にも耐え得る会堂に変貌するそうですから、それまで暫くの辛抱と忍耐・・・。聖書は、信仰と希望を抱いて患難や試練を耐え忍んだ人たちを待ち受けているのは平安と勝利であると教えております(ヨハネ16:33,ヘブル12:11など)。このことは子育てに於いても同じです。子どもたちは主の賜物です(詩127:3)。主が私達に委ねて下さった子どもたちを愛と忍耐をもって育てましょう。子どもたちの健やかな成長のために、この茅ヶ崎同盟教会・教会学校が、豊かに用いられますように!! (熊谷 徹 記)

4月19日開催 CS教師セミナー2008 報告

午前の部「子供を知るために-子どもたちの発達心理,現代の状況について」

講師：堀 肇 師 ルカによる福音書2章52節

発達心理学において「発達」とは、時間とともに示す心身の変化をいう。その領域は 身体と運動能力 感情(審美感情を含む) 認知能力 人間性 社会性と分けることができるが、これらは統合されて発達しなければならない。特に心の発達について考えてみると、その成長の土台ともなる母子関係について、次のような言葉がある。「人生早期の絆を強固に結び、子ども期を通して、お互いによりよき保護(母から子へ)と依存(子から母へ)を経験すること。その後迎える思春期に、機が熟した時、母と子は別れゆくこと。そして最も親しい独立した人間同士として、愛と信頼を抱き合って生き続けること。母子関係を要約すれば、このようになるであろう。」一般的にいえば“甘えさせる”ことによって、子どもはこの世界には自分を決して見捨てない人がいるという安心感と人間への信頼感を獲得していく、これが心の成長の土台となるのである。

しかし現代はこの土台作りがなかなかうまくいかない。「人生早期の絆」を結ぶよりも「人生早期の教育」に熱心になり、精神的自立や心の成熟にブレーキをかけてしまっているのではないだろうか。特にそれまでの心の発達の宿題（課題）がでてくる思春期・青年期に、大人は子どもとの接し方を変えなければならない。具体的には、子どもに自分の価値観を押し付けず客観的に情報を与えて子ども自身に考えさせる、聞きもしないのに自分たちの思春期や青年期の話をしない、などである。心理的・物理的に距離をおいて温かく見守ること、個別の問題にきちんと対応する、ちゃんと寄り添ってあげること（決して人と比較しない、一般論にしない）が大切である。

現代の思春期問題は社会の病理を背景にしているので、解決にはそれなりの時間を与えてあげる必要がある。少々歯がゆくみえても温かい気持ちをもって待つ、そうすれば、心の宿題は次第にクリアされていくのである。遅すぎるということはない。注げなかった愛は注ぎ直せばよいし、伝わりにくかった気持ちは伝え直せばよいのである。心の宿題は後でもできる。「愛するに時があり」(伝道の書3:8)とあるが、親子関係にもその人の機が熟す時があるのではないだろうか。もちろん人生早期に強固な絆を結ぶことができれば、それに勝る関係はない。赤ちゃんに健康によいからといって玄米を与える親はいない。心の発達に対しても同じことがいえる。それぞれの発達段階に即した対応が要求されているのである。

午後の部「子どもを救いに導き、訓練・教育するための工夫」

講師：後平 一 師 コリント3章7,8節

あなたは、CSの子どもたちのどんな成長を思い描いているだろうか。子どもの救いと成長のための基本原則、それは「成長させて下さるのは神である」ということ、福音の力と聖霊の働きを信じることである。では「植えて水を注ぐ」私たちの責任とは何か。それは子どもの救いと成長のために必要な環境を整えることである。まず、福音の種の入ったメッセージを語る大切である。教師はメッセージという名の昔話・聖書知識・体験談・道徳講話をしていないだろうかと反省してみる必要がある。メッセージは福音の真理が明確に示されていること、霊的であること、実際的であることが必要なのである。

次に、子どもたちにみ言葉への応答と決心を促し、祈りへと導かなければならない。そして テサロニケ 2 章 7,11 節のあるように、CSの子どもたちを神の家族に迎え入れ、彼らと霊的な親子関係を築いていかなければならない。またパウロとテモテとの関係をモデルとし、自分にとってのテモテは誰であるかを考えていかなければならない。そしてゼカリヤ 8 章 5 節にあるように、子どもには遊びが重要である。教会は楽しいところではなければならない。教師も一緒に楽しむことが必要である。また、クリスチャンホームの子、未信者の家庭の子に対して、それぞれ配慮しなければならないことがある。クリスチャンホームの子に対しては、成長

を急がせない,ただし時が来たとみられたら,躊躇しないことが大切である。未信者の家庭の子に対しては,その親との信頼関係づくりを大切にしてほしい。親を交えたイベントを企画したり,参観日を設けたりするのも 1 つの方法である。それぞれの子どもにあった対応ができるよう,祈りつつ備えていきたいものである。

(弓桁あずさ 記)

〔教会学校のこれからの予定〕

6月15日父母の日礼拝 午前9時より

みなさんのお父さんやお母さんをお招きして一緒に礼拝を行います。参加者プレゼントもあります。夏期学校のご案内もいたします。是非ご参加ください。

7月19～21日夏期学校・奥多摩福音の家

JR 青梅線の古里駅から徒歩7分にある奥多摩福音の家にて本年度も夏期学校を開催いたします。幼稚科から成人までを対象として,多摩川の上流,緑豊かな山々に囲まれた静かな場所で,聖書の学びとゲームやバーベキューなどを計画しています。みなさまのご参加をお待ちしております。

参考 リーベンゼラ日本宣教団「奥多摩福音の家」〒198-0105 東京都奥多摩郡奥多摩町小丹波 135 0428-85-2317 <http://www1.odn.ne.jp/ofi>

編集後記 (May,11th.2008 Updated)



今期も,幼稚科の奏楽アシスタントを含め13名の教師陣で1年間を担当します。またまた,教師の平均年齢は大幅上昇中です。まだまだ元気ハツラツですから心配はいりません。今年は原稿のすべてを一任されてしまい,インタビュー形式での原稿集めとなりました。御茶ノ水クリスチャン・センターで開催された教師セミナーに安田・弓桁両姉が参加し,そのレポートも掲載いたしました。教会のホームページにもこの教会学校だよりが掲載されますので是非ご覧ください。(森本)

